

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	おりーぶおりーぶ岩倉				公表日	2025 年 3月 30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		デイルームが広いので、職員の配置を広範囲にしている。	空間は広いが、音が反響しやすいので、聴覚過敏のお子さんには具体的な配慮が必要である。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			特に課題はない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		玄関前にスロープあり。トイレは車椅子でも入れるようになっている。デイルームの出入り口は段差はなく扉はスライド式。	特に課題はない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日清掃、消毒を行なっている。おやつやクッキングで使用した調理器具や食器も毎日消毒している。	特に課題はない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		宿題等を集中して取り組めるように、また、気持ちが悪くなった時などで静かに過ごせる部屋があり、必要に応じて使用している。	特に課題はない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎月(中間・月末)に目標設定と振り返りを会議で行い結果を本部に提出している。	利用者の目標数値は本部によりチェックしているが、利用者に対する職員のスキルチェックはOJTで行っている。半年に1回なので課題である。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		ホームページに公開されたものを職員全体が目を通し、保護者の意見を真摯に受け止め業務改善に繋げている。	今のところ保護者の意見をしっかりと受け止め、改善が必要な場合は速やかに対応している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎朝必ずミーティングを行なっている。その中で各職員からもいろいろな意見を出してもらっている。	ミーティングの頻度や内容はよいが、内容の幅が狭いため、グローバルな支援が必要である。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		現在検討中である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		定期的に社内研修をzoomにて実施されている。	資質向上のため、社内外にて研修を受けているが、振り返りが少ないため、より研修を定着させるために振り返りを行う必要がある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムについてはホームページで公表している。活動プログラムについては毎月20日以降に翌月のものを配布している。	日々プログラムの内容を見直していくことが必要である。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		必要に応じてアセスメントを更新している。また定期的に保護者と面談を行い、意見を聞きながら作成している。	特に課題はない。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		毎月個別支援会議を行い子ども一人一人の支援目標や支援内容について話し合っている。	特に課題はない。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		全職員が目を通し、計画に沿った支援を行っている。	特に課題はない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントツール、ケース記録、連絡帳等や学校の先生からの申し送り等で確認している。	特に課題はない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			特に課題はない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		全職員がアイデアを出し合い。企画している。新しいことも取り入れていけるよう、企画書を作成し許可を得て活動プログラムに取り入れている。	特に課題はない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		子どもたちがまんべんなくいろいろな活動に参加できるように工夫している。新しいことをたくさん取り入れられるよう保護者や子どもの意見も参考にしている。	お子さんによりますが、固定することが必ずしも悪い訳ではないため、安心できる環境のなかでご本人の強みを伸ばしていくことが大切です。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			特に課題はない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝必ずミーティングを行い、子どもの情報、活動内容や流れ等を全職員が把握できるようにしている。	特に課題はない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		サービス終了後に振り返りを行っている。また、必要に応じて翌日会議を行い報告書やケース記録に記録している。	特に課題はない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援を行った後の子どもの様子等を報告し合い、支援の検証・改善に繋げている。	特に課題はない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		毎月個別支援会議、定期的に保護者面談を行い、必要に応じて見直しをしている。	特に課題はない。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		子どもたちの特性を考慮しながら、複数組み合わせ、支援を行っている。	特に課題はない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分の気持ちを表現できるような絵カード、文字カード等のツールを使用し、そこ決定ができるよう導いている。	特に課題はない。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児童発達支援管理責任者が参加している。	必用に応じて児童発達支援管理責任者以外にも担当職員が同席します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			特に課題はない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校迎え時に必要事項の情報共有を行っている。	特に課題はない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて関係機関と連携を図り、情報共有を行っている。	特に課題はない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		障害福祉サービス事業所に子どもの様子など情報共有を行っている。	特に課題はない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		日常的に関わり支援を受けている。	特に課題はない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		春は五条川の花見や出店で買い物をしたり、近隣のスーパー等で買い物をする等、外出して地域の皆さんと一緒に関わりを持っている。	放課後児童クラブについては交流する時間はない。放課後児童クラブ側の職員数が少なくそれどころではないのが実情である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		子ども部会に参加している。	特に課題はない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の連絡帳、送迎時、面談等で情報共有を行っている。	特に課題はない。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		法人が「いわくらみんなサロン」を開催しペアレント・トレーニング等を行っている。	ペアレントトレーニングを通じて、ほめ方や整え方、伝え方を学ぶ機会をつくっている。また応用行動分析を利用した予防に対する研修も行っている。
保護者へ	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。	特に課題はない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談時に本人の様子を踏まえながら保護者の意向の確認をしている。	特に課題はない。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談時に保護者と共に計画書案を作成。目を通していただき、了承を得ている。	特に課題はない。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			特に課題はない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			特に課題はない。

の 説 明 等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に対応するよう心掛けている。事業所内で対応が難しい場合は上司に相談し指示を仰いでいる。報告書にて、本部に報告している。	特に課題はない。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月お便りと月のスケジュールを配布している。必要に応じて詳細の手紙の配布やLINEでの連絡をしている。	特に課題はない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		終業時に個人ファイル等は全て書庫に入れて鍵をかけている。	特に課題はない。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		共や保護者に合わせた伝え方や言葉の選択に配慮している。	特に課題はない。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人でフットサル、子ども食堂、いわくら・みんなのサロンを開催している。事業所では行っていない。	特に課題はない。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		それぞれのマニュアルに沿った対応をしている。緊急時の対応については契約時に保護者に伝えている。	特に課題はない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月一回必ず避難訓練を行っている。（地震または火災）	特に課題はない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認している。また年度はじめにも確認し、情報の更新をしている。	特に課題はない。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認している。アレルギーがあるものは提供していない。	特に課題はない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			特に課題はない。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に災害避難場所、避難方法など説明を行うとともに避難場所の地図や連絡方法を記載した書面を配布している。	特に課題はない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		全職員に周知し原因や再発防止に向けた会議を行っている。	特に課題はない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		社内研修がある。外部での研修も受講する機会がある。	特に課題はない。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に説明し、同意書をもらい事業所と家族それぞれ保管している。やむを得ず拘束を行った場合は記録を残すとともに保護者に伝えている。	子どもの虐待防止を積極的に行うため、身体拘束の承諾を保護者から頂いても、なぜこのような事象が発生したのか、環境調整を含め、様々な検証を行う必要がある。